

三里塚・ジェット闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉碎！

# 6名の仲間を即時釈放せよ！ 7.23 千葉地裁へ

## 日刊 動労千葉

81.7.22

No. 799

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七（二二）七二〇七

### 勾留理由開示公判へ 全支部から総結集せよ！

7月23日  
12時  
県庁前  
羽衣公園

六名の仲間は、拘留所の中で検事の連日にわたる厳しい取調べに対し、完黙で闘い抜いている。動労千葉は、弁護団を先頭に千葉地裁の六名に対する接見禁止と勾留攻撃に一つ一つ反撃しつつ、六名の仲間の闘いと相呼応して即時釈放・不当弾圧粉碎の闘いを連日展開している。来たる二三日十三時より千葉地裁において勾留理由開示公判が開催される。全支部から総結集し、六名の仲間を激励しようではないか。

#### 権力の異常な弾圧の実態

警察・検察当局は、今回の六名の仲間に対する不当逮捕を突破口に明白にわが動労千葉破壊・解体を狙っている。

このことは、第一に、動労千葉本部事務所と津田沼支部事務所へのそれぞれ約五〇名の機動隊を引きつけた強制家宅捜索。その直後における片岡支部長以下六名の不当逮捕。さらに、この六名の自宅への一斉家宅捜索の強行。

特に、事前における事情聴取を抜きに突然、不当逮捕に踏み切ったことは、極めて異常な弾圧である。

第二に、六名の仲間に対する取調べの焦点が「組合を脱退しろ」「役員をやめろ」とか「動労千葉は、とんでもない」という点に集中していること。

このように権力は、「6・12事件」そのものが動労「本部」反動分子による極めて意図的なデッチ上げであることを充分承知しつつ、彼らの告訴・告発を動労千葉つぶしの絶好のチャンスとして異常な弾圧体制をもったのできたのである。

六名を激励し、組織破壊攻撃を  
粉碎しよう

このように権力は「事件」云々よりも、そのことを口実とする動労千葉への組織破壊にやっきとなっている。

六名の仲間は、この権力の攻撃を最先端で受けとめ、先頭に立って連日連夜、権力の壁の中で闘い抜いているのだ。この六名の仲間の苦闘を守り早期釈放をかちとることなしに、動労千葉の勝利はない。六名の仲間を守り、勝利する道は、一三〇名組合員全体が勾留された六名の苦闘をわがものとし、怒りに燃えて総決起することである。

動労千葉は、六名の仲間が不当逮捕された七月十五日以降、津田沼支部を先頭に、あらゆる救援活動を展開し闘い抜いている。

この、動労千葉の団結を、七月二十三日、千葉地裁において、六名の仲間の前で、はっきりと示そう。

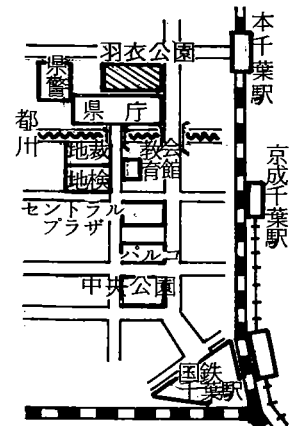
いま、六名の仲間にとって、動労千葉の大結集こそが、何よりの激励であり、動労千葉の勝利への最大の活力となるのである。そして、動労千葉が、この勾留理由開示公判へ大結集することこそは、裁判所、地裁、県警当局の動労千葉に対する組織破壊・闘争圧殺策動に対して、何よりの反撃となるのだ。

7月23日、12時、県庁前・羽衣公園へ！

船橋署は、告訴された残りの四名に対し新たに「任意出頭」攻撃をかけてきた。この新たな攻撃に対する反撃も含め、七月二三日の勾留理由開示公判に全支部から総結集しよう。

7月23日、12時

勤務以外の全組合員は、千葉  
県庁前、羽衣公園に結集せよ。



支援共闘は、7月15日に続き18日も津田沼駅前前で抗議集会と宣伝活動に決起！「三信ビル」は怒りのシュプレヒコールに包まれた。



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！